

公 表 日

令和 元年 8月27日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元年度 緑川流域自然再生計画検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 鈴木 学 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	令和 元年 8月27日
契約業者名	(公財) リバーフロント研究所
契約業者の住所	東京都中央区新川1-17-24
契約金額	14,960,000円(税込み)
予定価格	14,982,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	緑川水系
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 元年 8月28日
履行期間(至)	令和 2年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和元年度 緑川流域自然再生計画検討業務
2. 履行場所 緑川水系
3. 契約の相手方 住所：東京都中央区新川1丁目17番24号
会社名：公益財団法人 リバーフロント研究所
電話：（03）－6228－3860
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、緑川流域における過去からの治水・利水事業による施設整備や災害、河川利用等を踏まえ、緑川における河川環境（河道形状、河床材料並びに生物種等）の変化とその要因について評価分析を行い、緑川の河川環境の望ましい姿について検討するとともに、今後の調査計画並びに自然再生計画策定に向けた検討を行うものである。

- 2) 業務の内容

- ・ 緑川における河川環境等の変遷に関する資料の収集・整理
- ・ 緑川における河道や生物種の変遷のとりまとめ結果の分析評価
- ・ 自然再生計画策定のためのロードマップ作成

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、6者から参加表明書が提出され、6者が参加資格を有していた。

参加資格を有する5者を技術提案書の提出者として選定し、5者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断され、かつ、評価テーマ「緑川における河川環境変化の整理並びに要因等の分析評価を行う上での着眼点及び留意点」に対する技術提案において、最も優れた提案を行ったものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 調査第一課長